

人類生態班 C

母子健康・栄養研究グループ 2004 年度調査計画
村山伸子

1. 目的

- 1] 乳幼児を中心に、小児の健康・栄養状態と関連要因を明らかにする
- 2] 今後、縦断的にモニタリングしていくベースラインデータとする
- 3] ラオスの小児の栄養状態の評価法の検討をする

2. 対象

調査対象とする 3 地域 2004 年度はそのうち、1 地域（サバナケット）
成人調査と同様の村の 0～5 歳の乳幼児全数（人数未定）

3. 調査項目と方法

	調査項目	方法
健康・栄養状態	乳幼児死亡率	文献調査
	身長 体重 上腕囲 貧血の有無（ヘモグロビン値） 疾病の罹患、寄生虫の状況 など	全数に対して、実測・診察
健康・栄養状態に影響する要因	食物摂取状況（離乳食の時期と内容、1 日の食事内容と概量など） 哺乳の状況 下痢の状況 保育者の食やヘルスケアについての知識・態度・行動 食環境 衛生状態 など	全数に対して、質問紙法
	食物摂取状況を定量化するためのデータ（秤量法による食事調査）	数人に対して学生・現地調査員が貼りついて観察、秤量、インタビュー

4. 現地調査日程

2004 年 8 月～9 月 調査依頼と通訳等の調整（村山）
2004 年 10 月末～11 月 現地調査（村山、夏原、学生 3 人）

研究チーム

研究者

村山伸子（新潟医療福祉大学・健康栄養）

鈴木琴子（東邦大学・看護）

夏原和美（東京大学・人類生態）

顧問：大塚先生（東京大学・人類生態）

研究協力者

新潟医療福祉大学 学生3名（斎藤公二、斎藤弓絵、鈴木真美子）

*現地調査では、現地調査協力者（小児科医、通訳など）をお願いしたい

*縦断的な研究のため、現地の研究者との共同研究を希望